

NM4

製品説明書



●NM4-01/02のコンセプト(NM4-02は市販予定車、以下同じ)

現在では、かつて「近未来」と思っていた「コト」や「モノ」が、日常に溢れています。一昔前では考えられないようなコトが、簡単に誰でも体感できるようになりました。スマートフォンなどで、いつでもどこでも「バーチャル」と「リアル」の世界を自由に行き来できるようになりました。

そんな現在においてその波に流されるだけでなく、自分流に楽しんでいるモノ選びへのこだわりが強い「COOL」な人たちを、プロジェクトチームはターゲットとして定めました。

開発の基本であるよい物を作り出す「コト」はもちろんですが、NM4は、彼らのライフスタイルに合った「+αの価値」、すなわち様々なツールや、自分たちを引き立てる小道具のようなモーターサイクルとは何か?を考えました。私達は「近未来」と「COOL」を、NM4の目指すところとしてコンセプトに定めました。「近未来」「COOL」をモーターサイクルで表現するにあたり、バイクだけの格好良さだけでは物足りない、「ライダーとマシンが一体となって成立するシルエット」が重要であると考え、スタイリングは、「独特なフロントマッシブとローフォルム」とし、跨り・走った時の特徴として「バイクに潜り込むようなコックピットポジション」としました。コックピットポジションにより、ライダーがマシンに包み込まれたような感覚を作り出し、インパネ越しに見える風景は、映画の世界に入り込んだ様な、視界の広がりです。今まで味わった事のないような操縦フィールを体感できます。



スタイリングデザインイメージスケッチ

●NM4-01/02のアイデンティティー

NM4-01/02は、既存のモーターサイクルの価値基準に捉われない、全く新しいデザインにチャレンジしました。

- ・フロントに極端な塊感を持たせた、フロントマッシブスタイリング。
- ・リアを低く小さく絞り込んだNM4-01と、リア回りに独特の存在感のあるボリュームを持たせたNM4-02の2タイプを設定。
- ・潜りこむように着座する低シートによって、前方にメーターとスクリーンが見える独特の視野を望むコックピットポジション。

お客様が一目見てNM4とわかるデザインを明確に盛り込み、ライダーが乗った時に一番カッコよく見えるシルエットでアイデンティティーを表現しています。



●開発目標と達成手段およびNM4の特徴

<スタイリング>

- ・塊感のある、「フロントマッシブスタイリング」と迫力の極太リアタイヤ。
(低重心・低シート高・ロングホイールベース)
- ・“マシンを操縦する感覚を演出する”「コックピットポジション」。
(低シート高・バックレスト・インストルメントパネル)
- ・2タイプのリアデザイン。
(低く絞り込んだフォルムの-01、独特の存在あるボリュームを持たせた-02)
- ・光源の全LED化
(ヘッドライト・ウィンカー・テールランプ・ライセンスランプ・可変色メーターなど)

<扱いやすさ>

- ・安心感のある低重心と低シート高
(起立式ピリオンシート・ステップボード)
- ・独特のスタイリング実現と素直なハンドリングを両立させたプラットフォーム。
- ・滑らかでシームレスな加速感と走りの演出
(DCT(デュアル・クラッチ・トランスミッション) 装備)
- ・ABS標準装備

<実用性>

- ・フロントユーティリティボックス装備
- ・リアユーティリティボックス装備 (NM4-02)
- ・ETC搭載、グリップヒーター装備 (NM4-02)



NM4-01



NM4-02

●サイドビューデザイン

スタイリングデザインは、大胆な面構成や大きく左右に張り出したフロントフェアリングとそこにビルトインされたサイドミラー、塊感のあるフロントに対して、低く小さく絞り込んだリアフォルムのNM4-01と、独特の存在あるボリュームを持たせたNM4-02の2タイプを設定し、独自のフォルムを形成しています。同時に、ライディングポジションは、Hondaの大型モーターサイクルの中で最も低い、650mmというシート高によって目線を下げ、前方にインストルメントパネルが見える独特の視野を望むようにすることで、コックピットに潜り込んだようなイメージを感じさせるポジションとしました。このポジションによりライダーが跨った時にマシンと一体となって成立するシルエットによりNM4のフォルムが完成されます。



イメージスケッチ



●フロントフェイスデザイン

NM4-01/02の個性を最大限に発揮するフェアリングは、十分なウインドプロテクションとフロントマッシブで塊感のあるデザインを実現しています。

大胆な面構成のフェアリングは、前面部の左右にユーティリティーボックスを配し、前端部にはLEDウインカー、後端部にはミラーをビルトインさせた独特のレイアウトとしています。また、フロントウインカーよりさらに奥まった位置に配した、睨みを利かせた表情のLEDヘッドライトは、フェアリングの存在感を引き立て、NM4-01/02の独特のフェイスデザインを補完しています。(特許出願中)

一体感をもってタンクシェルターに繋がっていくワイドなフロントフェイスは、リアビューと共にNM4のデザインの最大の特徴となっています。



●シートデザイン

NM4-01/02のシート形状は、独特のフォルム形成に重要な役割を果たします。NM4-01/02の特徴であるコックピットポジションを成立するために、ホールド性の良いシート形状に、ライダーの乗車姿勢をサポートするバックレスト機能を有す起立式ピリオンシートを採用し、ライダーの快適性を向上させています。また、バックレストを倒すとタンデム走行もできる形状としています。バックレストは、前後に4つのポジション(25mm間隔で4段階)を設定でき、角度を3段階に切り替えられる構造としています。(特許出願中)

それらにより様々な体格のお客様に、コックピットポジションを体感いただけます。シートデザインのアクセントとして、縫製ラインは赤い糸による本格縫製を行うことで、一般的に行われている型による成型品とは一線を画し、本物へのこだわりのあるユーザーの所有感を満たします。



起立式ピリオンシート (バックレスト角度調整)



起立式ピリオンシート (バックレスト前後調整)



●リアデザイン

NM4-01/02の魅力を引き出すリアクォータービューは、極太タイヤとローフォルムの魅力を一番感じられるアングルで、フロントデザインと共にデザイナーが最も注力したところでは。

NM4-01はリアシェイプを絞り込む事でフロントフォルムの力強い塊感をひきかて、極太リアタイヤを強調させます。

NM4-02のリアデザインは、ボディーとの一体感とボリュームを持たせリアビューの迫力を演出します。また、このボリュームあるリアボディーはユーティリティスペースとしても活用出来ます。容量は左右共に約7.5リットルで小物などの収納に対応します。



NM4-01



NM4-02

●カラーリングコンセプト

カラーリングは、シンプルでクールなモノトーンカラーを基本としています。通常のスライプやアイキャッチの強いロゴなどを用いず、リアカウル側面にNM4のロゴを凹面成型でさりげなくあしらうことで、シンプルの中に主張を感じさせるデザインとしています。

車体のセンター部は、フロントからリアへ向けてブラックで統一した部品で構成され、またエンジン周辺部もブラックアウトすることで、カラーリングデザインの個性を際立たせています。

MAT BALLISTIC BLACK METALLIC



NM4-01



NM4-02

PEARL GLARE WHITE



NM4-01



NM4-02

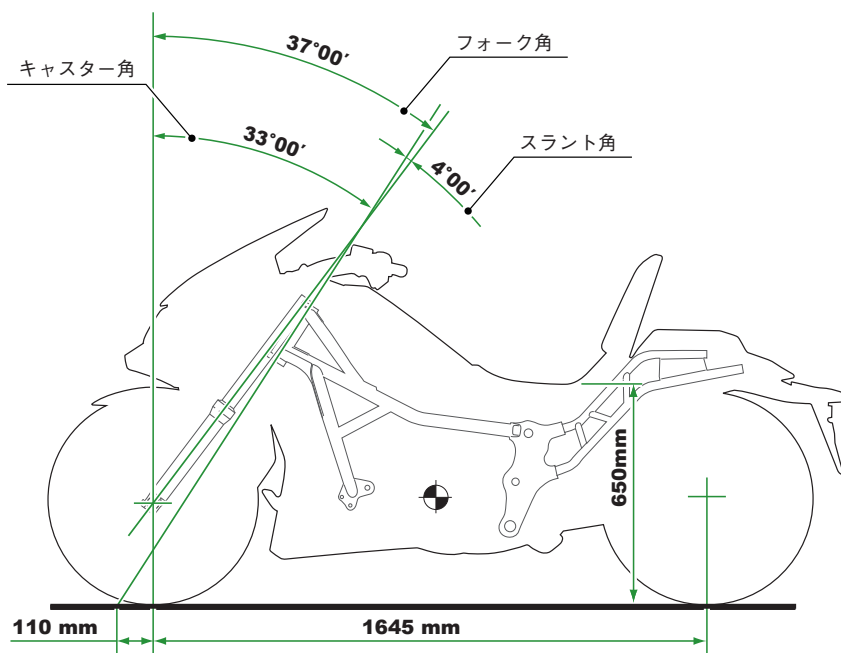
●プラットフォームとディメンション

NM4-01/02のプラットフォームは、フロントマッシュスタイリングとコックピットポジション、そして2タイプのリアデザインを実現する為、新規開発としました。フレームは、低く構えたポジションと安定感ある素直なハンドリングを高次元で実現するため、丸型鋼管のダイヤモンド形式を採用し、しなやかな乗り心地を実現させるとともに、低位置かつ狭いピッチのシートレールにより、安心感のある足つきの良い650mmの低シート高を実現しました。

このフレームは、33°に寝かしたキャスト角と、スラント角4°合わせて37°のフォーク角を設定し、トレール量を最適化。フロントに18インチタイヤを履き、リアには200mmの17インチタイヤ、専用アルミスイングアームで極太タイヤを履く足回りを受け止めます。

NM4-01/02は、この独特のディメンションによって、独特のスタイリングと、他のモーターサイクルに引けを取らない素直なハンドリングと乗り心地の両立を実現しました。

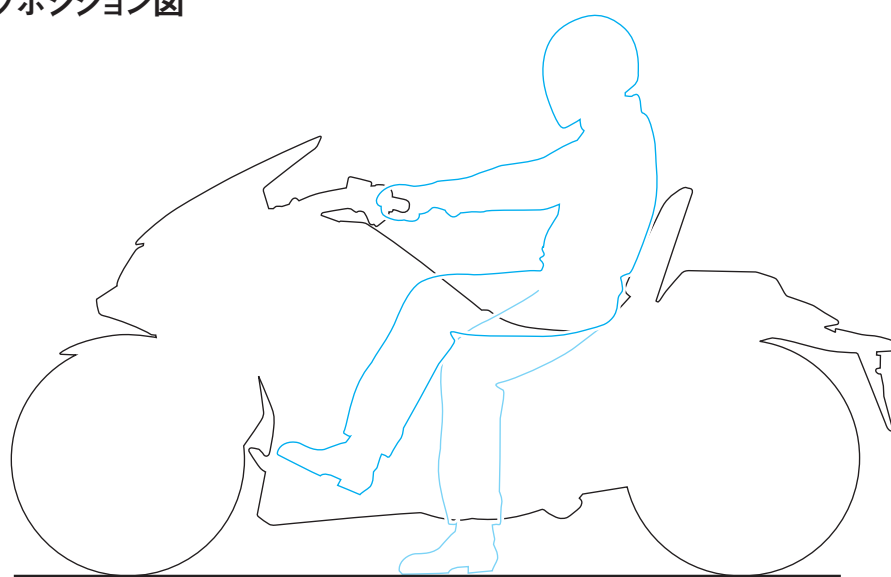
■ディメンション図



●ライディングポジション

ライディングポジションは、包み込まれるようなコックピットポジションで、インストルメントパネル越しに見える風景は今まで味わったことの無い視野を実現させ、独特の操縦フィーリングを提供します。起立式のピリオンシートは、前後ポジション調整、バックレストの角度調整により、より幅広い体格のライダーに、コックピットポジションを体感していただけます。また、足を置くステップは、自由度が高く独特のライディングポジションを実現する可倒式ステップボードを装備しました。

■ライディングポジション図



●フロントユーティリティーボックス

NM4-01/02のフロントフェアリングの左右に配したユーティリティーボックスは、左側に約1リットル(鍵付き)右側に約3リットルの容量を設け、小物などを収納できるようにしました。ユーティリティーボックスのリッドは、側面に配した三角形のボタンを押すことで開くことができ、左側のリッドにはキーシリンダーと連動したキーロック機能を有します。(特許出願中) 右側ユーティリティーボックスは、U字ロックを搭載する事もできます。左側フロントユーティリティーボックス内に、アクセサリースOCKETなど標準装備。

※U字ロックは、一部メーカーにより搭載できない物もあります。



左側 フロントユーティリティーボックス



右側 フロントユーティリティーボックス



ボックス開閉用三角形ボタン



●フロントフォーク

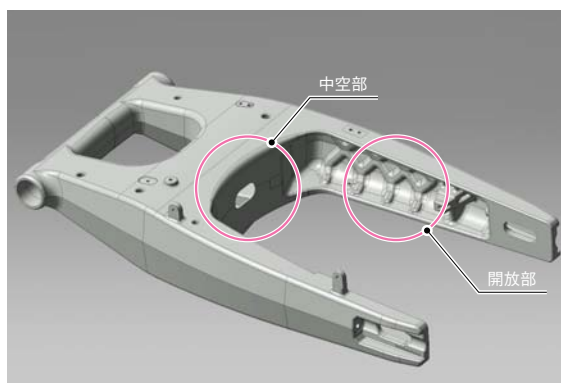
フロントフォークは、フレームとの剛性バランスを最適化した、インナーチューブ径 ϕ 43mmの正立式テレスコピックタイプを採用。サスペンションストロークは、125mmを確保し、コシのある乗り心地と接地感を両立させています。フォーク角 37° で安心感のある高い直進安定性を確保しながらも、作動性にこだわり素直なハンドリングを実現しました。



フロントフォーク

●リアサスペンション/リアスイングアーム

リアサスペンションには、プロリンクサスペンションを採用し、縮み側と伸び側に最適な減衰力を発生させられるH. M. A. S (Honda Multi-Action S ystem) ダンパーを組み合わせ、乗り心地の良さと優れた車体安定性を実現しています。また、プロリンクサスペンションはレシオの最適化により路面追従性とコシのある乗り心地を両立させています。リアのスイングアームは、長さを570mmとしクロス部は中空としアーム部は開放形状のアルミ中空FDC製法を採用。(特許出願中) 極太リアタイヤをしっかりと受けとめる剛性を確保し、変化する路面状況に追従する足まわりとしています。



リアスイングアーム

●ホイール、チェーン、タイヤ

軽量アルミキャストホイールは、“コの字”断面、10本スポークデザインにより、しなやかに路面の変化をいなし、素直な操縦フィーリングに寄与しています。チェーンは、520サイズのシールチェーンを採用。

タイヤはフロント120/70ZR18M/C (59W)、リアは200/50ZR17M/C (75W) サイズのラジアルタイヤを採用し、フロントマッシュブスタイリングの実現と、安心感ある素直なハンドリング、そして極太リアタイヤによる見た目の迫力を実現しています。

**●ブレーキ**

ブレーキは、最適な制動力を確保するため、フロントはφ320mmディスクに2ポットキャリパーを、リアにはφ240mmディスクに1ポットキャリパーを装備しています。また、ディスク形状はフロント、リア共にウェーブディスクを採用し、商品魅力向上とともに軽量化を図り、バネ下重量の低減に寄与しています。

さらに、安心感をもって、新規で購入されるお客様を始めとした幅広いお客様にNM4を体感していただくために、ABSを標準設定しました。



●メーターデザイン

個性的で視認性の高いデジタルメーターは情報を的確にライダーに提供し、使い勝手に優れるデザインとされています。幅広いお客様の好みに対応できるよう、Hondaの2輪車としては初採用の走行モードと連動した自動可変色メーターを搭載しました。走行モードの変化によりメーターバックライト、発光リングの色が変化し、各モードにおけるインフォメーションを分かりやすく提供し操縦フィーリングを引き立てます。(工場出荷時は「自動可変色」に設定) また、イグニッションスイッチをONにするとメーター左右の発光リングが脈動するように点滅します。

走行モードの色の設定は、「ニュートラル時:ホワイト、Dモード走行時:ブルー、Sモード走行時:ピンク、MTモード走行時:レッド」としています。

さらにユーザーの好みの色に固定設定することもできます。(次ページ参照)

その他に、外気温計やギアポジションインジケーター、燃費計、時計などの情報を提供します。

※NM4-01/02にはETCインジケーターが装備されます。

※NM4-02は、ETCおよびグリップヒーターは標準装備です。

※出荷状態は、走行モードに連動した「自動可変色」設定により、走行時はメーター色が変わります。



走行モードによって変化する色調

● 選べるメーター色

メーター色は、ユーザーの好みに合わせて、25色の中から任意の色調に固定した設定を行うことができます。この場合は、走行モードに連動した色の変化はしません。



●ヘッドライト、ウィンカー、テールランプ

ヘッドライト、ウィンカー、テールランプ、ライセンスランプの全てにLEDを採用し、NM4の世界観をより際立たせます。また、昼間の被視認性はもとより、夜間の快適な走行を可能にする配光を提供しています。

ヘッドライトの両端のクリアブルーの装飾板は、反射光を利用して独特なフェイスデザインをより一層引き立てます。



ヘッドライト、フロントウィンカー



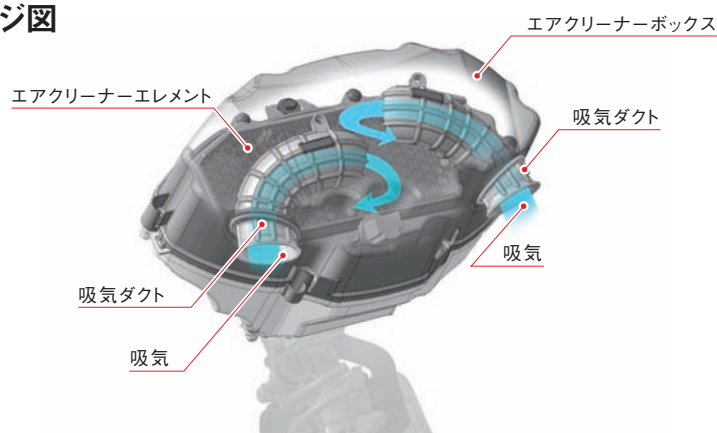
リアウィンカー、テールランプ

NM4-01/02のエンジンは、好評のグローバルエンジン、750cc水冷2気筒DCT搭載エンジンを採用しました。このエンジンは世界中のお客様に満足いただけるよう、低中速域を重視した乗りやすいセッティングにしています。

エアクリナーボックスは、2本の吸気ダクトの向きがエアクリナーボックス内で左右にクロスする構造とし、吸気の流れを最適化し、エアクリナーエレメントを均一に吸気が通過する構造としました。(特許出願中)

点火時期やDCTの変速特性の最適化と相まって、低回転からのスムーズな吹け上がりを実現します。

■吸入空気イメージ図



●DCT(デュアル・クラッチ・トランスミッション)

DCTとは、オートマチックトランスミッションの簡単な操作性と、マニュアルトランスミッションの優れた伝達効率を高次元で融合した有段式自動変速機です。軽量・コンパクトなシステムでありながら、電子制御技術により繊細なアクセル操作にも対応して、スムーズでダイレクト感のある発進・変速特性を実現しました。



デュアル・クラッチ・トランスミッション搭載エンジン

NM4

車名・型式	ホンダ・EBL-RC82	
全長 (mm)	2,380	
全幅 (mm)	810	
全高 (mm)	1,170	
軸距 (mm)	1,645	
最低地上高 (mm)	130	
シート高 (mm)	650	
車両重量 (kg)	245	
乗車定員 (人)	2	
燃料消費率* (km/L)	38.0 (60km/h定地燃費値)	
最小回転半径 (m)	3.2	
エンジン型式	RC70E	
エンジン種類	水冷4ストロークOHC4バルブ直列2気筒	
総排気量 (cm ³)	745	
内径×行程 (mm)	77.0×80.0	
圧縮比	10.7	
最高出力 (kW [PS]/rpm)	40 [54]/6,250	
最大トルク (N・m [kgf・m]/rpm)	68 [6.9]/4,750	
燃料供給装置形式	電子式<電子制御燃料噴射装置(PGM-FI)>	
始動方式	セルフ式	
点火装置形式	フルトランジスタ式/バッテリー点火	
潤滑方式	圧送飛沫併用式	
燃料タンク容量 (L)	11	
クラッチ形式	湿式多板コイルスプリング式	
変速機形式	電子式6段変速 (デュアル・クラッチ・トランスミッション)	
変速比	1速	2.666
	2速	1.904
	3速	1.454
	4速	1.200
	5速	1.033
	6速	0.864
減速比 (1次/2次)	1.921/2.294	
キャスト角 (度)	33°00'	
トレール量 (mm)	110	
タイヤ	前	120/70ZR18M/C (59W)
	後	200/50ZR17M/C (75W)
ブレーキ形式	前	油圧式ディスク
	後	油圧式ディスク
懸架方式	前	テレスコピック式
	後	スイングアーム式 (プロリンク)
フレーム形式	ダイヤモンド	

■道路運送車両法による型式指定申請書数値(シート高はHonda測定値) ■製造事業者/本田技研工業株式会社

*燃料消費率は、定められた試験条件のもとでの値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法、車両状態(装備、仕様)や整備状態などの諸条件により異なります。定地燃費値は、車速一定で走行した実測にもとづいた燃料消費率です。

※本仕様は予告なく変更する場合があります。※写真は印刷のため、実際の色と多少異なる場合があります。

※NM4、PGM-FI、PRO-LINKは本田技研工業株式会社の登録商標です。